

令和8年度平戸市美術展覧会 審査講評

画(一般)の部 審査員氏名(栄岩 伸治)

一般の作品は、平戸の漁師・自然・風景を描かれた作品が多く、
それ以外の作品も平戸市美術展覧会にふさわしい作品ばかり
が揃った。

その中でも、平戸市長賞の作品は大樹の生命力を力強いタッチとマチュール(絵肌)で丁寧に描かれており、見る側に迫力と生命力をうったえかけてる作品になっている。

平戸市議会議長賞の作品は鳥の亡骸とバネ・ボルトなどの機械的な物を組み合わせて描かれており、表現は具象でありながらもどこか抽象的な部分も感じさせられる面白い作品となっている。

平戸市美術振興会賞の作品は滝壺の水面を丁寧に描かれており、全体の構成と色彩が美しい作品である。

全体的に具象絵画が多く、どの作品も丁寧に描かれており、一般の作品は33点と少ないが見応えがある展示内容と言える。

令和8年度平戸市美術展覧会 審査講評

絵画 洋画(小・中学校)の部

審査員氏名(妻夫木 敏明)

小・中学校の審査を行いました。どの学年も力作ぞろいで作品制作の意欲が感じられました。学校生活、行事、夏休み、読書感想画、海、動物など幅広いテーマで効果的な構図や画面構成を考え、工夫している作品が多く嬉しく思いました。小学校低学年は、てらいもなくのびのびと自分や友達、家族の表情が表現され、明るい色調で描かれている作品が印象に残りました。特に教育長賞を受賞した作品は、迫力ある大きさに加えて、コラージュの面白さや穏やかな色調により伝わってくる雰囲気魅力的で、とても印象に残りました。

小学校中・高学年では、しっかりとものを見る力が高まり、モチーフをデフォルメーションして力強く表現した作品や、美しい色調でいねいに表現されている作品が目に残りました。またレリーフ、スタンピング、スパッタリングなどの技法を駆使して効果を高めている作品にも魅力を感じました。

中学生では、身近な風景を透視図法で遠近感や立体感を効果的に表現している風景や、偶然の面白さを引き出している版画、コラージュに細やかな線を描きこみ、質を高めている作品が印象

的でした。

多くの作品から、構成の面白さや色遣いから感性の豊かさが感じられ、ていねいに制作している根気強さにも感心しました。自分が考えたことや構想したものを表現したり、鑑賞したりすることは心に響くものがあります。これからも美しい何かに出会い、心豊かな日々を過ごされることを願っています。